



ウポポイ  
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK  
民族共生象徴空間

令和4年10月4日

## 旭川開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

～ 第34回総合評価審査委員会を開催しました～

令和4年9月1日（木）に開催された第34回 旭川開発建設部 総合評価審査委員会の審議概要について、別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

技術管理課 課長 門脇 極 (0166-32-3897)

技術管理課 上席技術管理専門官 宮武 功 (0166-32-4649)

旭川開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/as/>

旭川開発建設部公式 Twitter アカウント @mlit\_hkd\_as



第 3 4 回旭川開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	令和 4 年 9 月 1 日 (木) 旭川開発建設部 入札執行室	
委員	長澤 徹明 (北海道大学名誉教授) 北島 法 (東海大学名誉教授) 江口 尚文 (旭川大学教授) (五十音順、印は委員長)	
<p>議 事</p> <p>1. 総合評価落札方式の実施結果について 石狩川改修工事の内 石狩川東鷹栖地区河道再生工事 一般国道 4 0 号 音威子府村 音威子府トンネル外防災設備設置工事 旭東地区 就実 9 3 農区区画整理工事</p> <p>2. 建設コンサルタント業務におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の実施結果について 一般国道 4 0 号 音威子府村外 音威子府バイパス道路周辺状況調査業務</p>		
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
意見・質問	回 答	
<p>1. 総合評価落札方式の実施結果について 抽出された工事 3 件、業務 1 件について概要説明及び審議を行った。(以下、応札者の提案又はその評価に係わる内容は機密保持の観点から記載しておりません。)</p> <p><b>石狩川改修工事の内 石狩川東鷹栖地区河道再生工事 (施工計画重視型)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河道再生に使用する土砂は、本工事で河川から掘削する土砂を使用するのか。隣接して仮置きされている土砂を使用するのか。また、仮置きされた土砂の堆積目的はなにか。</li> <li>・濁水対応について記載している者と仮締切の設置撤去について記載している社があるが、それぞれの評価の考え方について。</li> <li>・河川工事において、河川流量増加時に土のうの流失が多々見られるが、本工事に関してそれらに対する対応はどの様に考えているのか。</li> <li>・ 8 番者について、押さえ盛り土の品質管理に関する評価の考え方について。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度施工区間から発生する河川掘削土砂では、盛土量に不足が生じるため、過年度工事において仮置きした残土を使用し施工することとしている。</li> <li>・質問に対して説明し、了解を頂いた。</li> <li>・当工事の施工は、非出水期の 1 0 月以降工事の着手とし、雪解水の発生する前に工事を竣工させる工程で考えている。</li> <li>・質問に対して説明し、了解を頂いた。</li> </ul>	

・増水対策について、9番者の対策が評価されず、応札者の対策が評価されているが、評価の違いはなにか。

#### 一般国道40号 音威子府村 音威子府トンネル外防災設備設置工事

- ・4番者の対策及び効果は評価しないのか。
- ・トンネル内の施工における安全対策の評価の考え方について。
- ・特例監理技術者とはなにか。

#### 旭東地区 就実93農区区画整理工事 (施工計画重視型(一括審査方式))

・整地工施工面積に対して、暗渠排水工施工面積が小さいのはなぜか。

・企業の過去2年度の工事成績の平均点について、対象年度に該当がない場合、2年度(最高10年度)遡って実績を確認するのはなぜか。

・審査結果一覧表に記載されている者で、入札順位表に記載されていない者がいるのはなぜか。

・3工事あるが、複数工事を応札するのは可能か。

・一括審査方式で今回3工事であるが、入札説明書記載の開札時間が30分間隔であり、3工事中2工事については、開札前に辞退したのか。

・質問に対して説明し、了解を頂いた。

・質問に対して説明し、了解を頂いた。

・質問に対して説明し、了解を頂いた。

・通常工事では、監理技術者は1工事1人であるが、工事区分、参加資格によって掛け持ちできる場合があり、その場合の監理技術者を特例監理技術者と呼ぶ。

・全区域地下水が高いことは想定されていたが設計段階で全区域調査ができなかったことから、把握されている11haを当初工事数量とした。工事発注後に現地確認を行った結果、全区域が暗渠排水工を必要な区域として、設計変更により対応する。

・過去2年の実績を有する企業が少ない場合は必要に応じて対象期間を拡大することとなり、受注機会確保のため、対象期間を拡大し評価しているところ。

・3工事の一括審査方式であり、記載のない者は、当該工事には参加表明していないため。

・3工事に参加表明していても、1工事落札した時点で、以降の工事は辞退することになる。参加表明は全工事でも良いし、選択し1工事でも可能。

通常の入札であれば、3工事分の入札参加資料を作成しなければならないが、同工種同規模等条件が整えば一括審査方式で1工事分の資料で3工事に対応できるため業界の書類作成についても労力軽減となっている。

・3つの工事については、金額の高い工事から開札していき、全ての工事に参加表明していても落札した場合には以降工事は辞退となり、段々抜けていく形となる。

2. 建設コンサルタント業務におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の実施結果について

一般国道40号 音威子府村外 音威子府バイパス道路周辺状況調査業務

・この業務は学術的調査ではなく、道路事業が環境にどのような影響を与えるか検証するものと思われるがそれで良いか。

・各環境分野に関する有識者は本業務に参画しているのか。また、参加している各会社には環境の専門家がいるのか。

・管理技術者は環境の専門的な知識を有しているのか。また、どの企業も専門家とのネットワークはあるということか。

・底生動物調査においてザリガニも対象としていると思われるが、専門家からサクラマス等と関連性の深いカワシンジュガイ（カラスガイ）について話はあったか。

・評価テーマの適格性の項目において、評価されている者とされていない者の評価の違いについて。

【上記工事・業務について適切な評価と認める】

・そうである。

・業務内容として、調査結果を有識者に説明する事になっている。

また、本事業は環境影響評価を実施しており、工事の施工にあたっては、各専門の学識経験者に、調査内容等の助言を頂いて工事を実施しているところ。

・そうである。

・質問に対して説明し、了解を頂いた。

・質問に対して説明し、了解を頂いた。

以上